



三重病院

ニュースレター

news letter vol.294

01 『心理療法士』のおしごと

看護の日

02 2病棟の子どもたちの生活のひとコマ
《看護専門室》病院紹介

糖尿病専門看護師
通所支援事業のひとコマ

03 5病棟の生活のひとコマ⑨
令和6年度公益社団法人三重県看護協会会長表彰
やまばとギャラリー

04 病院からのお願い／外来診察のご案内

心理療法士のおしごと

三重病院の心理療法士は女性スタッフ2名で、どちらも臨床心理士と公認心理師の資格を有しています。「心理士」というと、「心の中や考えていることがわかるんですか？」と聞かれることがありますが、もちろん心理士だからといって相手の考えが全てわかるわけではありません。患者さんや患者さん家族のことを理解しようと努めることは欠かしません、患者さんのことを知る手がかりのひとつとして、検査やカウンセリングを行っています。

検査と言っても、目的によって実施する検査は異なります。よく子どもたちに「痛いことはする？注射はするの？」と尋ねられることがありますが、血液検査のような検査は行いません。ここでは大きく分けて2つの検査についてお話ししたいと思います。

まず発達検査についてお話しします。発達検査とは子どもの心身の発達の度合いを調べる検査のことです。様々な種類の検査がありますが、今回は当院で主に使用している検査についてお伝えしたいと思います。

当院では就学前のお子さんには主に新版K式発達検査2020を実施しています。積木や模倣などの項目があり、検査項目の中にも少し遊び要素があるため、小さなお子さんでも取り組みやすくなっています。就学後のお子さんには主にWISC-V知能検査を実施しています。5つの領域からお子さんの得意不得意を判断し、学習場面や生活場面に活かしていくことを目的としています。高校生(16歳)以上のお子さんには、WAIS-IV知能検査を実施しています。

発達検査は数値が算出されるものではありませんが、数字にのみ着目せず、具体的に得意な



ことや不得意なこと、どんな支援が必要で、どんなサポートがあれば背中を押すことができるのか、ということに重点を置いていただければと思います。

もうひとつの検査は心理検査です。心理検査にも様々な種類がありますが、どの心理検査も患者さんの特性や状態を知る検査になります。その時の心理状態が表れると考えられているため、検査を実施するタイミングによっては結果が異なることもあります。

これらの検査結果を総合して患者さんのことを知る手がかりとし、今後の治療の見立てや、学校等への情報提供を行っています。学校や利用されている施設に検査結果を提供することもできますが、主治医宛てに「依頼書」が必要となりますので、診察の際に主治医にご相談ください。

カウンセリングでは、患者さんのお話を伺うことがメインにはなりますが、年齢や状態によってゲームやお絵描き、箱庭

(※写真)等を行うこともあります。検査とは異なり、居心地が良く落ち着くような時間や空間を作りたいと考えています。カウンセリングを行うことで問題やストレスがゼロになることはないかもしれませんが、少しでも緩和してもらえればいいなと思っています。そして問題解決や状況(状態)改善のためには、患者さん自身の意欲が必要です。そんな気持ちを後押しして、みなさんに寄り添える存在になれることを目標としています。

(心理療法士 山口 明日香)



外来から
のお知らせ

休診 [眼科] 8/14(水)・8/16(金)・・・樋口(代診なし)

[小児神経科] 8/28(水)・8/29(木)・・・中村(代診なし)

当院の都合で急遽休診が出る場合があります。気になるようでしたら、受診当日、当院までお問い合わせください。